

(別紙4(2))

事業所名 株式会社アライブ グループホーム椿

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 4 月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に基づいた業務を実践する為に全職員で共有しつつ、話し合う工夫が望まれる。また開設時から会社統一の理念としており、事業所独自の理念も検討されたい。	職員間での理念の共有と共に、事業所独自の理念の構築。	・会社の理念に対しての目標を月ごとに決め、終礼や会議の際に目標に対しての取り組みを協議する。 ・事業所独自の理念の構築。	2ヶ月
2	5	不衛生さや再骨折への不安を取り除く為に行う行為は、利用者の人権をそこなう事にも配慮し、家族にも理解を求めて、職員体制や関わり方・時間帯で対処法を話し合い改善が望まれる。	職員間、家族への身体拘束の理解を深め、身体拘束の廃止を目指す。	・身体拘束についての会議を随時実施し、身体拘束の理解を深めると共に人権についても協議する。 ・月一度のモニタリングや、2ヶ月に一度の会議の中で職員の意見を聞き取り、身体拘束の廃止に努める。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。